

科目名		授業形態	担当教員名	
精神医学		講義	出田 祐久	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
60 時間 (4 単位)		30 回	2 年次	通年
授業の目的・概要				
<p>高度な情報が発信され世界中を飛び交う現代社会において、人間性が否定されつつある。そして、病める精神は、人間を蝕み破壊してしまう。こんな中において精神医学の必要性が叫ばれている。OTはこの分野で大変重要な位置を占めるとともに、社会から強く必要性を求められている。目に見えない「精神」を数少ない情報で理解する。この講義では、優秀なOTを目指す諸君が精神医学を通して精神障害の成因分類、診断と評価について学び理解を深めることができることを目標とする。</p>				
授業の到達目標				
<p>1. 精神障害の成因と分類が説明できる。 2. 精神機能の障害と精神症状について説明できる。 3. 脳器質性・症状性精神障害について説明できる。 4. 精神作用物質による精神及び行動の障害について説明できる。 5. 統合失調症について説明できる。 6. 気分障害について説明できる。 7. てんかんについて説明できる。 8. 神経症性障害・精神遅滞について説明できる。</p>				
授業計画				
回	内容		回	内容
1	精神医学とは 精神医学の成因と分類		16	てんかん
2	精神医学の成因と分類 2		17	てんかん 2
3	精神機能の障害と精神症状 意識・知能		18	統合失調症
4	精神機能の障害と精神症状 性格・記憶		19	統合失調症 2
5	精神機能の障害と精神症状 感情・欲動・自我		20	気分障害
6	精神機能の障害と精神症状 知覚・思考		21	気分障害 2
7	精神機能の障害と精神症状 病識・主な精神病像		22	神経症性障害
8	精神機能の障害と精神症状 失語・失認・失行		23	神経症性障害 2
9	精神障害の診断と評価		24	生理的障害および身体的要因に関連した障害
10	精神障害の診断と評価 2		25	精神遅滞
11	脳器質性精神障害		26	心理的発達の障害
12	脳器質性精神障害 2		27	リエゾン精神医学
13	症状性精神障害、精神作用物質による精神及び運動障害		28	心身医学
14	精神作用物質による精神及び運動障害 2		29	ライフサイクルにおける精神医学
15	精神作用物質による精神及び運動障害 3		30	ライフサイクルにおける精神医学 2
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	90%	前期末に中間試験、学年末に定期試験を行う。		
レポート	10%			
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	定期試験とレポートで総合評価する。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 精神医学	上野 武治		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				